

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選	授業担当者 Instructor
中小企業論	共通	2年生・後期	2単位	選択	遠藤 真紀
履修の前提条件	中小企業論は、大企業に焦点をあてた一般的な経営学を中小企業にあてはめていく学問です。よってベースとなる基本的な経営学関連科目の「経営学総論」や「経営管理総論」、「経営戦略論」、「マーケティング論」、「会計学入門」、「簿記」などを履修し、理解しておく必要があります。				
授業概要 (Course Outline)					
中小企業は、わが国において企業数および雇用される従業員数ともに圧倒的多数を占め、またわが国産業の競争力を下支えています。講義では、大企業との格差問題や下請問題および中小企業が地域経済や国際化等に寄与していることについて検討します。テキストによる講義だけでなく、ビデオ教材等を活用するとともに、具体的な事例や分析データ等に基づき、実践的な視点で、構造的・政策的な側面についても検討していきます。					
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)					
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture				○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature				○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening				○
	数量的スキル Mathematics				
	情報リテラシー Information Literacy				○
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking				○
	問題解決力 Problem Solving				○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy				○
	自己管理能力 Self-management				○
	チームワーク Teamwork				
	リーダーシップ Leadership				
	倫理観 Ethical Sense				○
	市民としての社会的責任 Social Responsibility				○
	生涯学習力 Lifelong Learning				○
到達目標 (Objectives)					
中小企業における基礎的知識(特性や役割および政策等)および今日的な課題(大企業との格差問題や下請問題および中小企業に必要なマネジメント等)についての知識を修得し、理解していること。					
事前学習の内容	事前にテキストを読み、課題(レポートの作成)に取り組んでおく必要があります。また中小企業のみならず一般的な企業経営等について関心を持ち、実社会での出来事など様々な情報に接しておく事が期待されます。				
事後学習の内容	講義は、それぞれの理論の一部分を解説しているに過ぎません。よってテキストを読み直すだけでなく、実社会での出来事や事件・ニュース等との関連性を考えるなど、関連情報の収集と考察が期待されます。				
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)					
基本的に対話型の講義になります。よってただ単に出席し、講義を聴いているだけでは単位取得できません。講義中に行われる教員からの質問等へ積極的に対応し、自身の意見を発言していくことが求められます。また中小企業の経営や戦略等に関するビデオ聴講による演習を行います。聴講したビデオに基づき、ディスカッションを行うため、ビデオ内容の聞き取り力、メモ力、聴講した内容や関連情報との考察力を養っていきます。					
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)					
教員への講義内容および企業情報や企業経営等に関する質問および関連資格の取得方法等を含む学生生活全般に関するアドバイス・相談等は研究室で対応します。オフィスアワー以外の不在時には、研究室のメッセージボードやEメール (endo@kiis.ac.jp)等を活用してください。自主性を重要視するので「来る者拒まず、去る者追わず」のスタンスで対応しますが、「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」という格言の通りです。積極的な教員へのコンタクトおよびコミュニケーションが期待されます。					
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について					
希望者には、必要に応じて、販売士(3級~1級)、経営学検定(マネジメント検定:初級、中級、上級)、中小企業診断士等、経営学に関連する資格試験の受験指導を行います。宿題となる課題レポートの提出以外に、資格試験への積極的な取り組みや関連するレポートおよび学習記録(ポートフォリオ等)の提出は平常点として加味します。					

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	講義の目的と進め方(講義内容のアウトラインの理解)		
第2回	中小企業の特徴		
第3回	中小企業の歴史		
第4回	海外の中小企業		
第5回	中小企業問題と中小企業政策		
第6回	中小企業の戦略マネジメント		
第7回	下請分業構造の変容と中小企業のマネジメント		
第8回	中小企業ネットワークのマネジメント		
第9回	地域産業集積の変容と中小企業のマネジメント		
第10回	グローバル経済の変容と中小企業のマネジメント		
第11回	中小企業の組織・人材マネジメント		
第12回	中小企業の事業承継マネジメント		
第13回	中小企業の製品開発・事業開発マネジメント		
第14回	中小企業の財務マネジメント		
第15回	講義のまとめ(講義内容全体の総括)		
第16回	定期試験等		
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
中小企業経営入門	井上・木村・瀬戸編著	中央経済社	978-4-502-11761-9
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
現代中小企業経営論 よくわかる経営戦略論 戦略プロフェッショナル	川上義明 井上善海・佐久間信夫編著 三枝 匡	税務経理教会 ミネルヴァ書房 日経ビジネス文庫	4-419-04660-0 978-4-623-05069-7 978-4-532-19145-0
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
<p>成績評価方法: 定期試験、平常点(出席率、ディスカッションへの参加、各種レポート提出、資格試験への取り組み、ポートフォリオ提出、教員とのコミュニケーションなど学習に対する積極性)等を総合的に考慮して評価します。</p> <p>評価基準: 学習に対する積極性および中小企業の経営についての基礎知識および今日的な課題についての知識を修得し、理解している。また企業経営に関して、今後の自身の自律的・自発的な行動への判断基準が持っている。</p>			